

親子でやってみよう! オノック伝授~地域で活かせるバルーンアート~

地域の活性化や居場所づくり、子どもの健全育成活動を福生市を中心に広く行っているオノック氏との、楽しい時間はあっという間で、バルーンアートづくりを通して、センターとのつながりと笑顔を広げる活動へのきっかけにさせていただけたのではないのでしょうか。

《参加者意見》

- ・面白い体験をさせていただいた。
- ・楽しかった。
- ・バルーンアートで人と地域が繋がれば良い。
- ・初対面の方とバルーンで繋がれた。
- ・輝き市民サポートセンターを知ることができた。
- ・涼しい時にまたやって欲しい。

〈参加者〉8月6日(金)11名 8月13日(金)8名 合計19名 〈満足度〉5点 <5点満点>



「福生をもっと知ろう! 語ろう! 活動を広げよう!」

地域デビュー応援隊

第6回委員会

「まち」の魅力発見・発信を目指す「まち歩き」、受益者と支援者ともにニーズが増加している「フードバンク」(講座開催)について検討しました。

「まち歩き」では、スタンプラリー形式の町会巡り、市内の作業所等の見学会、スポットとして「人」に着目していく等の案が出ました。「フードバンク」では、依頼した講師プロフィールの報告をし、最終的には市内の子ども食堂の充実化や、食べ物ではなく「もの」のリサイクル、みんなで繋がることをテーマに掲げるという意見が出ました。



実施日：8月10日(火)第6回委員会
：9月14日(火)第7回委員会

第7回委員会

第7回委員会では、事業を進めていく中で、再度委員会のあり方・位置付けについて意見交換し、「場所・機会を作る」、「繋がりを広げて中間支援していく」等、未来の地域デビューする方への想いや、10年後の街が豊かになっていることを想像しました。

「フードバンク」は、11/9(火)開催予定の市民活動支援講座(※本紙1面参照)に向けて情報共有し、内容を詰めていきました。

「まち歩き」は、次回の委員会で実際にまち歩きをしながらサンプル動画等を撮影し、今後の発信方法や発展を検討していく予定です。

スキルを活かす社会貢献活動 学ぼう「プロボノ」

実施日：9月18日(土)

社会のために「何かできることをしたい」、「自分のスキルを活かした活動で社会貢献をしたい」というニーズが増えてきています。本講座は市民活動団体、ボランティア活動団体をサポートする「プロボノ」という社会貢献活動を学び市民活動とボランティアの広がりを目指すことを目的として開催いたしました。

《参加者意見》

- ・社会貢献に興味があり参加したが良かった。
- ・今後の活動に活かせたら良い。・プロボノが良く分かった。
- ・何か自分のスキルを活かそうと思っても、どうしていいのかわからなかったが、中間支援組織があることを知り、登録もできるのだと解った。

〈参加者〉会場9名 オンライン8名 合計17名 〈満足度〉会場4.4点 オンライン4.2点 <5点満点>



ハイサイ!三線倶楽部



コロナ禍で活動が制限される中、ハイサイ!三線倶楽部では「今できる事」をしています。JR御嶽駅徒歩1分「ミタケテラス」音楽広場で、7月19日と8月29日に三線ライブを開催しました。

いつもありがとうの人、久しぶりの人、ネットで知って来てくれた初めましての人、たくさんの方が私達の三線を聞きに御岳まで来てくれました。

7月19日のライブの様子はYoutube「8131チャンネル」で見れるので、ぜひご覧になってください。

そして、次回の「ミタケテラス」での三線ライブは10月24日(日)になります。

自粛疲れを御岳の美味しい空気、そして、三線の音色で癒されに来てください!



ドイツ平和村をサポートする会



去る4月、センターの「活動紹介コーナー」に展示したのもつかの間、緊急事態宣言で閉館となり、皆さんの目に触れず期間が終了しました。この展示では、「ドイツ平和村を何故応援するのか」の「何故」を中心に紹介しました。当会は今年設立15周年を迎え、6月にはドイツと結び「平和村を近くに感じる学習会」をオンラインで行い、コロナ禍の平和村の現状を知ることができました。

8月には平和に関わる期間として、福生市公民館平和事業に協力し、6日~9日まで「原爆と人間」パネル展を、また21日は公民館講座「戦争遺跡は語る」に、当会の代表が講師の一人として参加しました。コロナ感染防止対策の制約がありながらも、来場者・参加者と『平和への想い』を確認する大切な機会となったことを嬉しく思っています。

*** いつでも、会員募集中! ***



福生古文書研究会



福生古文書研究会では発足以来、福生市に残る江戸時代後期の古文書を解読してきました。そして、ここ数年は所蔵者田村半十郎氏のご好意を得て、田村半十郎家の古文書を上梓する活動を続けております。

現在読み進めているのは酒造創設者の田村勘次郎「年中行事日記帳」であります。中学生にも解るをコンセプトとして、読みにくい文字にはルビをつけ、判明していることは(注)として補足して作り上げています。

会の定例会は月1回、校正作業として月2回の集まりを持ち、現在は「年中行事日記帳3」の校正の最終段階に入っております。



校正会議のメンバー